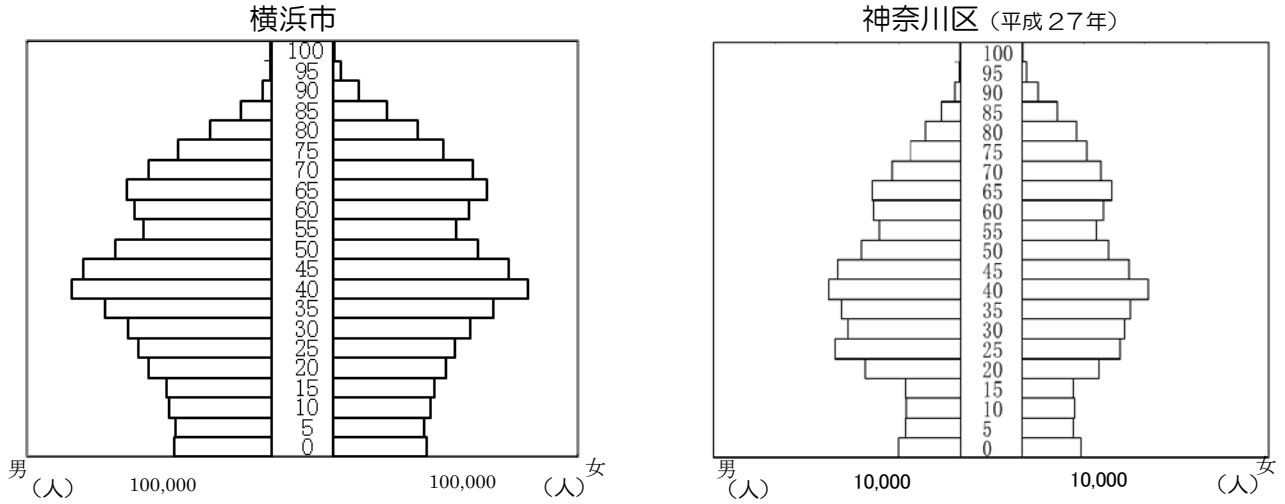


◆年代別人口データ

区別の人口ピラミッド（平成 27 年）

神奈川区は横浜市と比べて 20～30 歳代人口の比率が高い。

資料：「横浜市の人口 ～平成 27 年 1 月 1 日現在の年齢別人口～」より抜粋

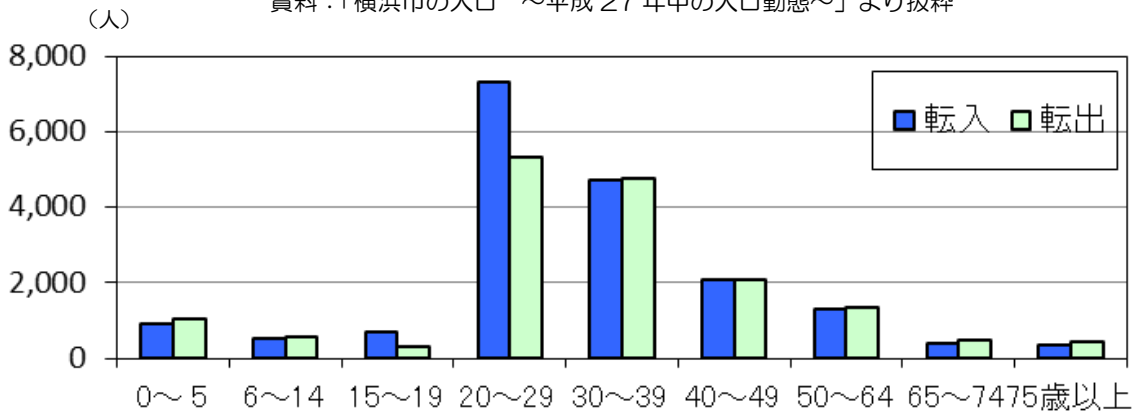


◆人口動態

神奈川区の人口移動（平成 27 年中）

20～30 歳代の移動が多い。20 歳代の転入割合は市内 1 位

資料：「横浜市の人口 ～平成 27 年中の人口動態～」より抜粋

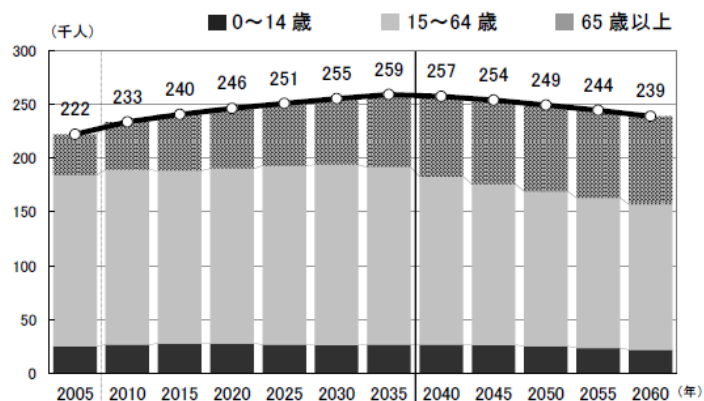


◆将来人口推計

神奈川区の将来人口推計

神奈川区の人口ピークは 2035 年、259 千人になる。（参考）横浜市の人口ピーク：2019 年、約 374 万人

資料：横浜市「将来人口推計」（平成 22 年）

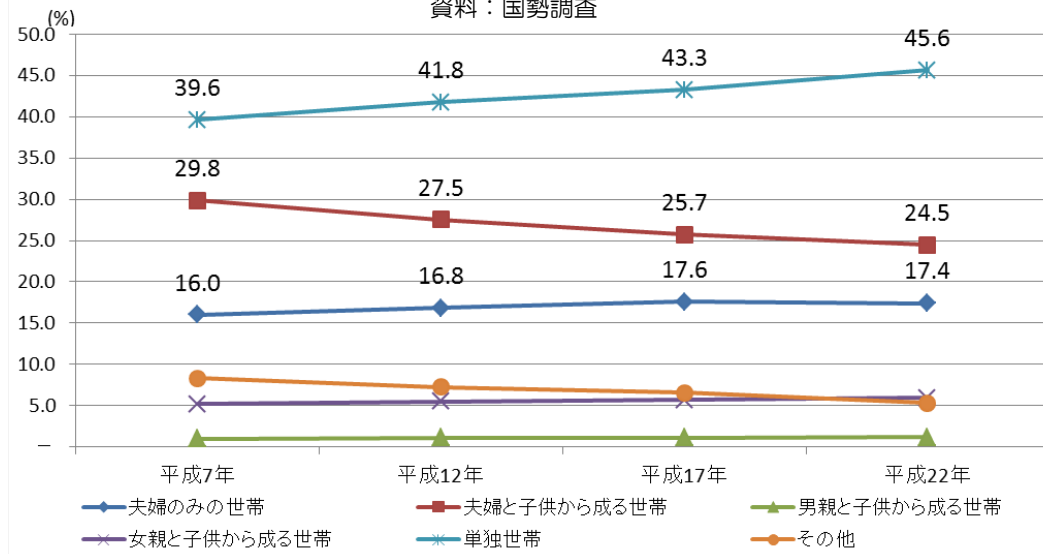


## ◆世帯構成の推移

神奈川区の家族類型別世帯数の推移（平成7年～22年）

単独世帯や夫婦のみの世帯が増加している。

資料：国勢調査

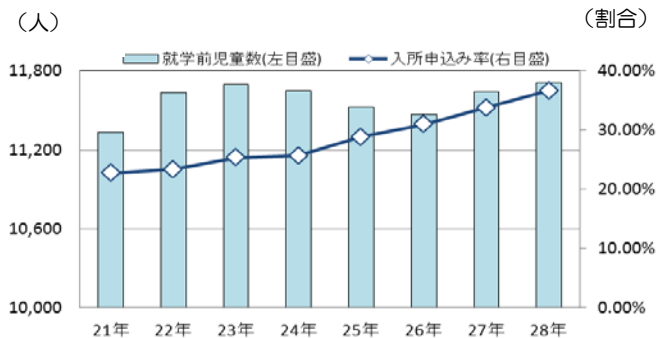


## ◆就学前児童数と保育所入所申込率

就学前児童数と保育所入所申込率の推移（平成21年～28年）

入所申込率は上昇傾向にあり、保育所ニーズの高さが伺える。

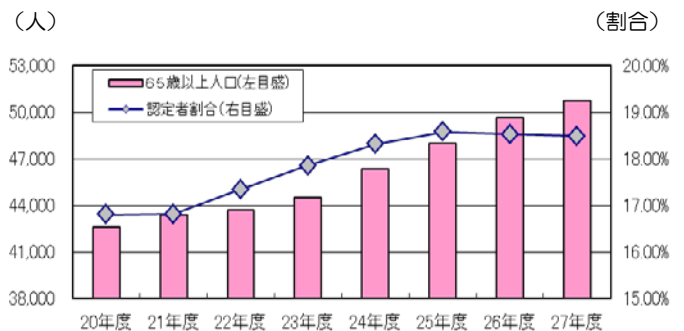
資料：神奈川県子ども家庭支援課（各年4月1日現在）



## ◆高齢者と要介護認定者割合

65歳人口とともに要介護認定者割合も増加傾向にある。（平成20年度～27年度）

資料：神奈川県高齢・障害支援課（各年3月末現在）

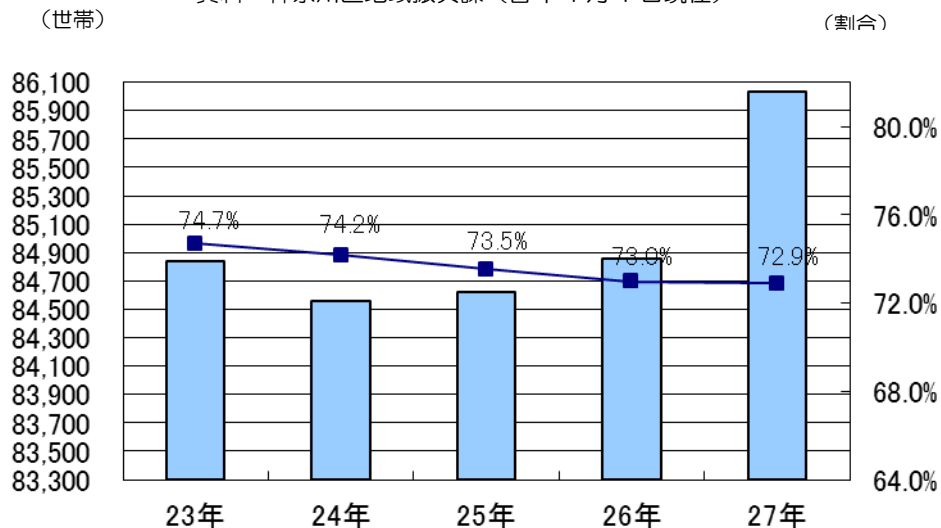


## ◆自治会町内会

自治会町内会加入世帯数及び加入率の推移（平成23年～27年）

加入世帯数は24年度以降増加している。加入率は減少傾向にある。

資料：神奈川県地域振興課（各年4月1日現在）



## ◆地震被害想定

神奈川県では密集した木造住宅地が多くあるため、揺れと火災による被害が他区に比べて多い。

資料：神奈川県総務課

【想定は平日 18 時】

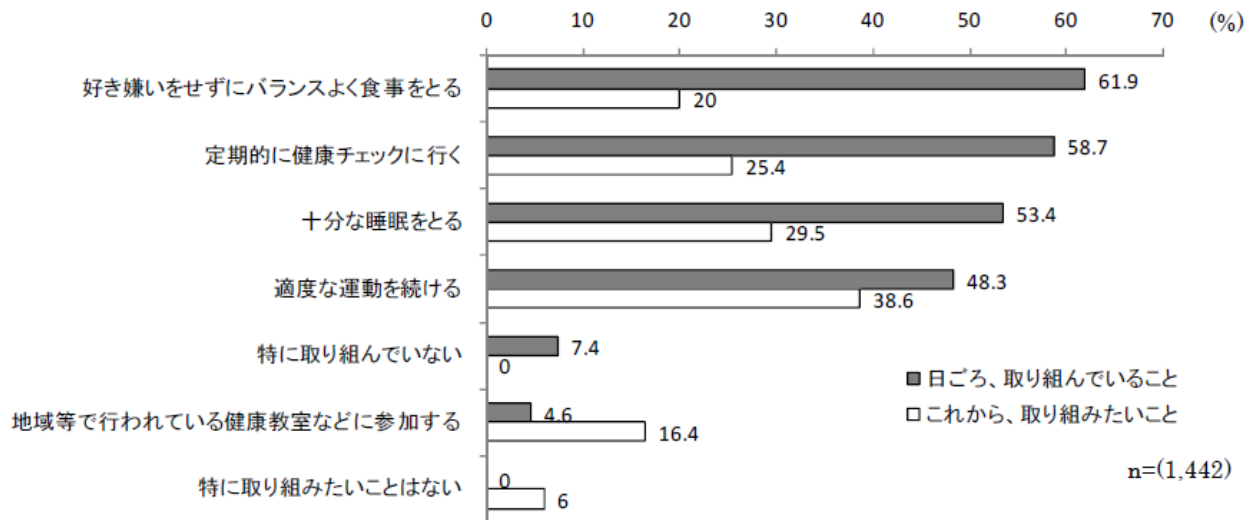
神奈川県	震度		元禄型関東地震	東京湾北部地震	南海トラフ巨大地震
			震度6弱～7	震度5弱～6強	震度5弱～5強
	揺れによる建物全半壊被害(棟)		11,462	2,781	144
	火災による焼失棟数(棟)		11,802	1,766	0
	建物の倒壊による死者(人)		154	15	0
	建物の倒壊による負傷者(人)		1,626	370	20
	火災による死者(人)		226	32	0
	火災による負傷者(人)		265	40	0
	避難者数(人)	1日後	58,870	20,439	9,848
		4日後	53,202	17,000	8,702
		1ヶ月後	38,713	8,209	5,773

横浜市	震度		元禄型関東地震	東京湾北部地震	南海トラフ巨大地震
			震度5強～7 (市内広い範囲で震度6強以上の揺れ)	震度4～6強	震度5弱～6弱
	揺れによる建物全半壊被害(棟)		137,100	28,477	2,407
	火災による焼失棟数(棟)		77,654	13,035	5
	建物の倒壊による死者(人)		1,695	217	3
	建物の倒壊による負傷者(人)		19,913	4,463	347
	火災による死者(人)		1,548	242	0
	火災による負傷者(人)		1,778	331	0
	避難者(人)		577,307	233,966	100,411

## ◆健康に関する習慣・意識

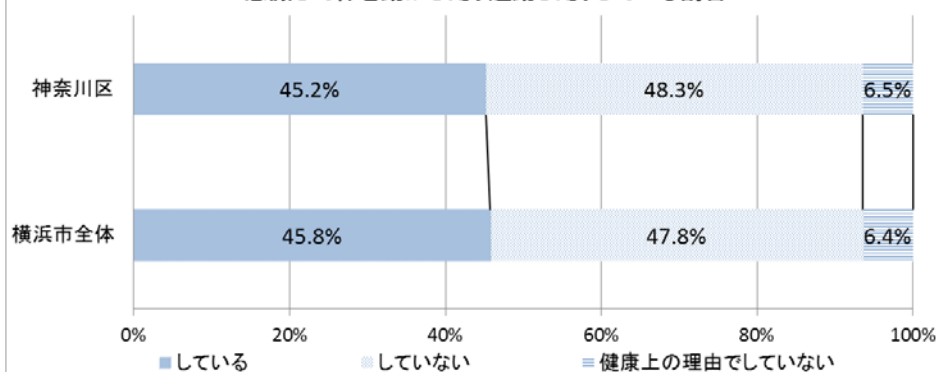
これから取り組みたいこととしては、「適度な運動を続ける」(38.6%)が最も多い。また、意識して体を動かしている人も半数近く存在する。

資料：神奈川県 26 年度区民意識調査



資料：平成 25 年度 健康に関する市民意識調査（横浜市健康福祉局）

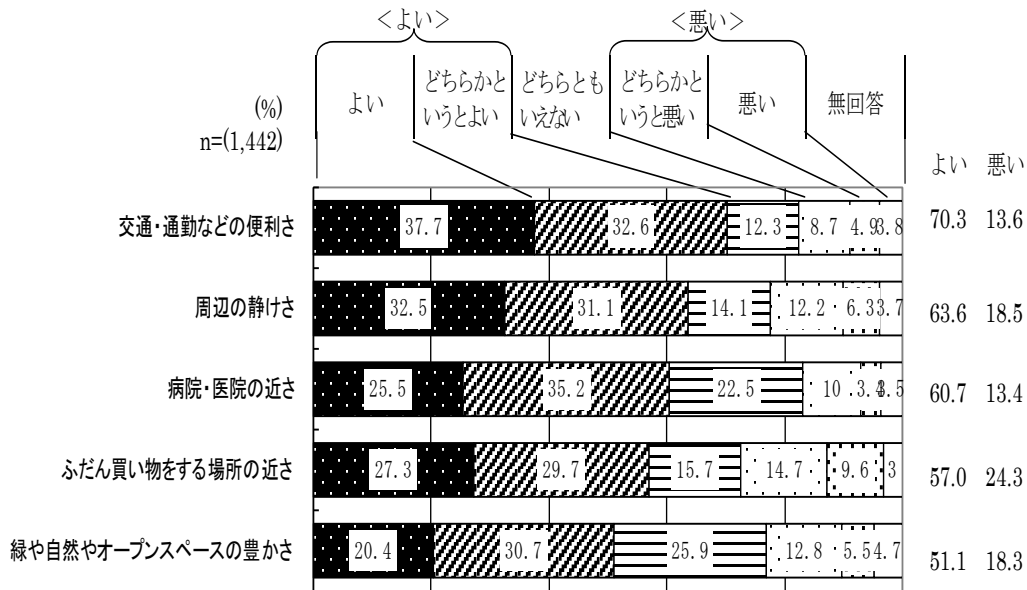
意識して体を動かしたり運動したりしている割合



### ◆住まいの環境への評価<よい>の上位5項目

「交通・通勤などの便利さ」「周辺の静けさ」「病院・医院の近さ」などが高く評価されている。

資料：神奈川区 26 年度区民意識調査



### ◆神奈川区への定住意向推移

神奈川区に「住み続けたい」と「たぶん住み続ける」を合わせた定住意向は78.3%となっており、定住意向は8割前後で推移。

資料：神奈川区 26 年度区民意識調査

